

## 就労移行支援事業所を対象とした研修会の実施について（案）

年間の就職者が 0 人である就労移行支援事業所をはじめとして、就職実績に乏しい就労移行支援事業所に対して、以下のとおり、年内を目途に研修会の実施を検討している。

### 1 目的

**就職者 0 人の就労移行支援事業所が 1 人でも就職者を出せるようにすること**

### 2 課題

就労移行支援事業所を対象に実施したアンケート調査により、平成 26 年度の就職者が少ない事業所ほど、主として以下の傾向を持つことが明らかになった。

- ・作業スキルトレーニングの比重が高くなる傾向
- ・ジョブガイダンスの実施回数が少なくなる傾向（特に、就職者 0 人グループとそれ以外のグループとの比較において顕著）
- ・施設外支援・施設外就労ともに対象者が少なくなる傾向
- ・企業及びハローワークに職員が訪問する回数が少ない傾向

→**就職者が少ない事業所は事業所外（就職先の企業や関係機関）に働きかける力が弱い（＝事業所内での作業に重点が置かれている）。**

### 3 研修対象者

以下を主たる研修対象者として、それぞれの立場に適した研修内容を設定することで、研修の効果の向上が期待される。

#### ・管理者

#### ・サービス管理責任者

→管理者（あるいはサービス管理責任者）による就労支援の取組方針を、より就職と結びつけたものにするため。

#### ・就労支援員

→就労支援員の企業や関係機関への働きかけのスキルを向上させるため。

#### 4 研修内容

外部への働きかけの方法や利用者を就職させることの重要性を事業者が正しく把握するための参考として、3コマのプログラムを検討している。

	①就労移行支援事業の 制度説明	②県内の就労移行支援 事業の現状について	③事例紹介
講師	千葉県障害福祉課職員	千葉県障害福祉課職員	就労移行支援事業実施者
内容	<p><b>就労移行支援事業の制度の趣旨説明</b></p> <p>①加算制度、減算制度を含む報酬体系について</p> <p>→利用者が「就職する」加算の対象に、「就職しない」ことが減算の対象になる。</p> <p>②就労継続支援A型・B型事業の制度との違いについて</p> <p>→事業所内における継続的な就労機会の提供を目的とした就労継続支援A型・B型事業とは、目指すゴールが異なる。</p>	<p><b>県内の就労移行支援事業所の概況の紹介</b></p> <p>①就労移行支援事業所へのアンケート調査結果について</p> <p>→県内の各就労移行支援事業所の就職実績や取組等について、アンケート調査の結果を基に紹介する。</p>	<p><b>事業所から一般企業への就労の好事例紹介</b></p> <p>①就労支援員の役割について</p> <p>→企業や関係機関といった事業所の外部との連携を中心的なテーマとして、実際に利用者が就職に至るまでの過程を紹介する。</p> <p>②ジョブガイダンスについて</p> <p>→事業所における就職訓練プログラムの一つとして、ジョブガイダンスの効果的な実施方法について、実際の事例を紹介する。</p>
効果	<p><b>就労移行支援事業は「就職させるためのサービス」であることの理解を促す。</b></p>	<p><b>自身の事業所に何が足りないのかを客観的に考える機会とする。</b></p>	<p><b>「どのような支援を行えば、就職につながるのか」ということについて、就労支援員による支援の指針を提供する。</b></p>